

家畜衛生便り



No.339

平成30年4月26日

徳島県家畜防疫衛生センター
西部家畜保健衛生所 吉野川庁舎
徳島県吉野川市鴨島町麻植塚
TEL. 0883-24-2029 FAX. 0883-24-1397

西部家畜保健衛生所 東みよし庁舎
三好郡東みよし町中庄
TEL. 0883-82-2397 FAX. 0883-82-4843

家畜保健衛生所ホームページ URL
http://www.pref.tokushima.jp/docs/2014_022000090/

ごあいさつ

所長 岩佐 隆範

この度、平成30年度定期人事異動により着任いたしました。

紙面をお借りして管内畜産農家並びに関係者の皆様に、ご挨拶を申し上げます。

先の平成30年1月10日、香川県において高病原性鳥インフルエンザの発生に際し、県による県境の消毒ポイント5カ所の設置対応に従事された関係者の皆様そして農家を含めた関係者の皆様の懸命な侵入防止対策の徹底により、徳島県内での発生が阻止出来たことに対し、厚く御礼申し上げます。

さて、畜産農家を取り巻く情勢は、すでにご承知のとおり、経営者の高齢化、後継者不足、畜産環境問題等の課題に加え、飼料価格や生産資材の高騰による収益性の低下による経営環境は厳しい状況にあります。

これに加えて、最新のマスコミ報道では、アメリカとの二国間の貿易赤字削減協議が言われていることです。この中で、日本農業の市場開放を迫ろうとしており、この動向が注目されるところです。

こうした中、日本の高品質な農畜産物を世界へ輸出する動きが活発化し、徳島県でも組織をあげて高品質な農畜産物を輸出する支援体制が整備され、6次産業化の進んだ農家で、畜産物の輸出を実現したところも散見されるようになりました。

この実現には、各農家が地域ぐるみで「飼養衛生管理基準」に取り組み、その水準の向上・維持が出来、また地域に家畜伝染病の発生が無く、畜産経営が安定していることが非常に重要であります。

当所としましても、家族経営の畜産農家指導を中心に、我々の任務である口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザ等特定家畜伝染病の危機管理体制の整備を関係機関と進めますとともに、その他の家畜伝染病発生防止にも努めます。また、昨年度からのGAP・HACCP認証取得を継続支援し、農家の安全で高品質な畜産物生産指導も行います。更に家畜改良等の畜産振興業務等を通じ、高品質な畜産物生産基盤の整備にも努めて参ります。

今年度も、畜産農家及び関係者の皆様の様々な声にお応えできますよう、職員一丸となって業務に取り組んで参りますので、ご協力についてよろしくお願いいたします。

平成30年度 西部家畜保健衛生所 職員

所 長	岩佐 隆範	(徳島家保から転入)
次 長	浅野 順司	(畜産研究課から転入)
次 長	北田 紫〔美馬・三好担当〕	(徳島家保から転入)

衛生防疫第一担当 【吉野川庁舎】

主査兼係長(リーダー)	福見 貴文	(徳島家保から転入)
係 長	山田 みちる	
係 長	紀川 将之	
係 長	地面 理恵	(総務事務管理課から転入)
主 任	山口 智美	
主 任	中田 翔	(畜産振興課から転入)
主任主事	森川 かほり	
主任主事	川田 健太	(畜産研究課から転入)
主 事	出口 達也	
主 事	五島 万記子	(新規採用)

衛生防疫第二担当 【東みよし庁舎】

係 長(リーダー)	富久 章子	
主 任	東山 雅人	(畜産研究課から転入)
主 任	石丸 歩	(食肉衛生検査所から転入)
主任主事	美馬 伸吾	(食肉衛生検査所から転入)
主 事	横山 卓矢	
嘱託獣医師	色原 豊彦	
臨時職員	上野 昭夫	

『転出者・転出先』

東城 孝良	徳島家畜保健衛生所 所長
小島 久美子	農業大学校 教頭
鴻野 文男	徳島家畜保健衛生所 次長
阿部 敏晃	畜産研究課 上席研究員
小倉 朋和	徳島家畜保健衛生所 課長
岡本 陽子	動物愛護管理センター 係長
森本 美奈子	食肉衛生検査所 主任
可児 宏章	畜産研究課 主任研究員
松英 百合子	徳島家畜保健衛生所 主任
河見 博子	食肉衛生検査所 主任主事
藤本 貴大	退職
井内 民師	任期満了により退職

ゴールデンウィークにおける防疫対策強化

ゴールデンウィークを迎え、海外との人や物の往来が増加するため、近隣諸国で発生している口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病が侵入するリスクが高まっています。

畜産関係者の皆様におかれましては、下記の事項に注意し、改めて防疫対策に万全を期していただきますようお願いいたします。

- 1 伝染病の発生地域への渡航は可能な限り自粛しましょう。
どうしても渡航する場合には、以下の点に注意して下さい。
 - ① 家畜市場、農場、と畜場等の畜産関連施設に立ち入らないこと。
 - ② 動物との不用意な接触を避けること。
 - ③ 肉製品等を日本に持ち帰らないこと。
 - ④ 帰国の際には、到着した空海港の動物検疫所カウンターに立ち寄り、家畜防疫官の指導を受けること。
 - ⑤ 帰国後一週間、必要がある場合を除き、衛生管理区域に立ち入らないこと。
 - ⑥ 海外で使用した衣服及び靴を衛生管理区域に持ち込まないこと。
やむを得ず持ち込む場合には、事前に洗浄、消毒を徹底すること。
- 2 病原体の持込みを防止するため、衛生管理区域に必要な人いや物を持ち込ませないようにしましょう。
やむを得ない場合には、洗浄、消毒を徹底してください。
- 3 家畜伝染病に関する情報を集めましょう。
家畜保健衛生所が発行する広報や国のホームページなどを活用して情報の把握に努めてください。
○農林水産省ホームページ
「空海港における水際検疫の強化について」
http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/quarantine_beefup.html
- 4 家畜伝染病を広げないためには、早期発見・早期通報がとても大切です。
毎日必ず家畜を観察し、少しでもおかしい時には、すぐにかかりつけの獣医師や家畜保健衛生所に連絡しましょう。

<連絡先> 徳島県家畜防疫衛生センター
西部家畜保健衛生所 吉野川庁舎 0883-24-2029
東みよし庁舎 0883-82-2397

家畜保健衛生所は、休日・夜間も24時間対応しております。

韓国の豚飼育農場で口蹄疫が発生！

2018年3月26日付、韓国農林畜産食品部プレスリリースによれば、京畿道金浦市に所在する豚飼育農場で口蹄疫の発生が確認されました。

また、4月1日には、今回の発生農場と疫学的に関連のある農場において続発事例が確認されました。

同国における本病の発生は、2017年2月13日以来、約1年ぶりに確認されたものであり、今回、豚飼養農場での続発が確認されたことは、同国での口蹄疫ウイルスの濃厚汚染が危惧され、地理的に近い我が国への本病ウイルスの侵入リスクが極めて高い状況にあることを意味します。

現在、韓国では、発生農場及び周辺農場の殺処分や畜舎内外の消毒、家畜・車両等の移動制限を実施しています。

1 発生農場の概要

京畿道金浦市大串面（デゴトミョン）
豚飼育農場（約1,000頭飼育）

2 経緯

3月26日 当該農場から届出

3月27日 口蹄疫（A型）と判定
同日、防疫措置を開始

3 疫学情報

○1例目の農場に入った糞尿回収車が2例目の農場に出入りしていたことが判明。

4 対応

○発生農場及び周辺3km以内の農場7戸飼養豚の殺処分（3/30完了）

○全国一時移動停止（3/27～3/29）

全国の偶蹄類家畜、畜産関係従事者及び車両の移動停止
偶蹄類農場や畜産関連施設への出入り禁止

○緊急ワクチン接種

京畿道、忠清南道の豚農場に対するワクチン接種（3/29完了）

4月末までに全国の豚農場に対して接種

順次、2回目のワクチン接種を予定

○全国の農場間で偶蹄類の動物の移動禁止（3/27～4/9）

○移動制限区域（発生農場の10km以内）の予察強化

韓国における口蹄疫の状況（2018年3月以降）

京畿道（2件）

- ①3月26日 金浦（キンポ）市 豚（A型）
- ②4月1日¹⁾ 金浦（キンポ）市 豚（A型）²⁾

1)OIE報告に基づき発生日を修正
2)②は①の疫学関連農場（①から12.7km離れた場所に所在）

●：発生日点

※発生日はOIE報告または韓国当局の公式資料に基づく



発生確認件数：2件

A型：2件

2018年4月12日現在
農林水産省動物衛生課

（韓国農林畜産食品部資料より）

発生予防の徹底をお願いします！

- 農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。
- 農場に持ち込む**物品**や**出入りする車両の消毒**を徹底しましょう。
- 農場や畜舎の出入口に**踏込消毒槽等**を設置することにより、出入りする人の**靴底の消毒**を徹底しましょう。
- 従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、これら国の**農場からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まない**ようにしましょう。
- 毎日、飼養家畜の健康観察**を行いましょう。



効果的な消毒を実施しましょう！

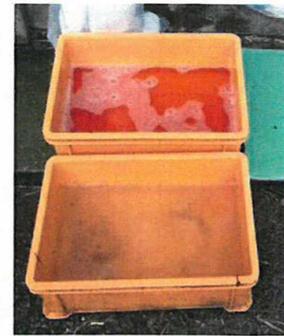
◎ 効果的な消毒のポイント

- ・ 踏込消毒槽の消毒液は、汚れで効果が薄れるので、**まずは汚れを落としてから消毒**しましょう。また、**消毒薬が汚れていたら、直ちに交換**しましょう。
- ・ 農場に出入りする車両を消毒する時は、タイヤのみを消毒するのではなく、**泥よけの内側部分や運転席の足元スペース**も可能な限り消毒しましょう。

《要注意》

- ★ **逆性石けんは口蹄疫の消毒薬としては不適**です！
- ★ 消毒効果が弱まるので、**酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しない**こと！

推奨される
踏込消毒槽の設置方法



② 消毒液の槽
↑
① 水洗の槽

疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**泡状のよだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）**ができるのが特徴です。

<A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果>

～牛の症状～

写真：宮崎県提供



～豚の症状～



上顎口唇潰瘍



水疱が破れている



接種3日目



接種4日目

多数の水疱病変を確認

➡ **毎日必ず健康観察**し、これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師**や最寄りの**家畜保健衛生所**に連絡しましょう。

牛では、1頭のみに着目せず、泡状のよだれを多く流している個体が多い、上記の症状が急速に拡がるなど、群としての異状の有無を確認することが重要です。